



13号 令和5年5月19日

<学校教育目標>

自ら伸びる ともに伸びる

校長だより

呉市立市阿賀小学校
安宗 誠



相手を思いやる運動会の先にあるもの

運動会に取り組むのは、相手を思いやる心を磨くためと、「11号」でもご紹介しました。その後、阿賀っ子には、その先にあるものについて、話をしました。

その先にあるのは、「**自分の命を自分で守れるようになる自分自身**」。

落ち着いた態度で行動できるようになれば、大事な情報を聞き逃すことはないでしょう。いざというとき、避難すべき場所にも素早く正しく避難することができるでしょう。運動会の練習を通して、落ち着いて行動できる自分を磨いてきたのは、実は自分の命を自分で守れるようにするため。

また、その先にあるのは、「**自分自身の幸せ**」。

「喜びやくやしさを分かち合う」「支え合う」「助け合う」「励まし合う」「許し合う」……。これらができる人が不幸せになるはずがありません。逆にこれらができない人に幸せが訪れることはないでしょう。まさに、「平生往生」「因果応報」。運動会の練習を通して、相手を思いやれる自分を磨いたその先にあるのは、結局は自分自身の幸せなのではないでしょうか。

保護者の皆様、運動会のためのテント張りや片付け、大変お世話になりました。

